

令和7年度  
(2025)

徳島大学大学院薬学研究科  
博士課程・博士後期課程

一般選抜, 社会人・外国人留学生特別選抜  
学生募集要項

令和6年5月

徳島大学大学院薬学研究科  
徳島市庄町1丁目78番地の1  
郵便番号 770-8505  
電話 088-633-7247

# 目 次

## 教育方針と特色

### アドミッション・ポリシー

### 各専攻に属する分野名

## 薬学専攻博士課程（4年制）

### 一般選抜学生募集要項（第1次・第2次）

- 1 募集分野及び募集人員について ..... 7
- 2 出願資格について ..... 7
- 3 出願資格の認定について ..... 8

### 社会人特別選抜学生募集要項（第1次・第2次）

- 1 募集分野及び募集人員について ..... 9
- 2 出願資格について ..... 9
- 3 出願資格の認定について ..... 10

### 外国人留学生特別選抜学生募集要項（第1次・第2次）

- 1 募集分野及び募集人員について ..... 11
- 2 出願資格について ..... 11
- 3 出願資格の認定について ..... 12
- 4 徳島大学留学生ポータルについて ..... 12

### 一般選抜、社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項（第1次・第2次）

- 1 出願時提出書類について ..... 13
- 2 出願期間・受付場所について ..... 14
- 3 安全保障輸出管理について ..... 14
- 4 選抜方法について ..... 14
- 5 障がいのある入学志願者について ..... 15
- 6 合格者発表について ..... 15
- 7 入学に必要な経費について ..... 15
- 8 個人情報の取扱いについて ..... 15
- 9 その他 ..... 15

## 創薬科学専攻博士後期課程（3年制）

### 一般選抜学生募集要項（第1次・第2次）

- 1 募集分野及び募集人員について ..... 19
- 2 出願資格について ..... 19
- 3 出願資格の認定について ..... 20

### 社会人特別選抜学生募集要項（第1次・第2次）

- 1 募集分野及び募集人員について ..... 21
- 2 出願資格について ..... 21
- 3 出願資格の認定について ..... 22

### 外国人留学生特別選抜学生募集要項（第1次・第2次）

- 1 募集分野及び募集人員について ..... 23
- 2 出願資格について ..... 23
- 3 出願資格の認定について ..... 24
- 4 徳島大学留学生ポータルについて ..... 24

### 一般選抜、社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項（第1次・第2次）

- 1 出願時提出書類について ..... 25
- 2 出願期間・受付場所について ..... 26
- 3 安全保障輸出管理について ..... 26
- 4 選抜方法について ..... 26
- 5 障がいのある入学志願者について ..... 27
- 6 合格者発表について ..... 27
- 7 入学に必要な経費について ..... 27
- 8 個人情報の取扱いについて ..... 27
- 9 その他 ..... 27

## 徳島大学大学院薬学研究科概要

- 分野の研究概要 ..... 31
- 授業科目及び単位数等 ..... 36

## 出願時提出書類

## 教育方針と特色

徳島大学大学院薬学研究科では、学部教育の特徴を大学院まで継続し、薬学専攻と創薬科学専攻の2専攻それぞれの分野で学部・大学院一貫教育を目指すとともに、各専攻の目的に特化した特徴ある教育カリキュラムを設定し、各分野の理解を深める教育を行います。

研究指導に関しては、学生個人の感性を高めさせ、想像力を豊かにし、創造力と研究能力を発揮しうる人材の育成を心がけ、学生の研究意欲の増進を図ります。

### 薬学専攻博士課程

薬学専攻博士課程では、医療現場に直結した医薬品情報の解析、薬物の体内動態の解析及び制御、薬物の有効性、安全性、毒性に関わる代謝の意義、細胞レベル及び分子レベルでの薬物の作用発現機構の解明、人の健康に影響する因子の解明と制御などに関する研究指導と臨床薬剤師としてのリスクマネジメントなどの実務実習を通して、高い倫理観と臨床能力を備え先端的研究を行う実践能力を有した薬剤師（pharmacist-scientist）、新規医薬品の応用創薬および開発・規制に関わる医療系薬学研究者、医療系薬学の分野で国際的に活躍できる人材、そして上記人材を養成できる医療薬学教員の養成を目指しています。また、薬学専攻博士課程では、がん専門薬剤師履修コースを設置し、がん専門薬剤師の養成を支援します。

研究においては、臨床に根ざした医療薬学研究、薬学基礎分野と臨床分野を結ぶトランスレーショナル研究、医薬品の適正使用、レギュラトリーサイエンス、テーラーメイド医療等の医療の質の向上に関する研究を推進します。

### 創薬科学専攻博士後期課程

創薬科学専攻博士後期課程では、分子設計及び分子機能、医薬分子創製、環境資源科学などの講義ならびにゲノムインフォマティクスや分子科学計算に基づく創薬ターゲット分子の探索、精密有機合成化学による新規有機化学反応の開発、天然医薬資源の探索とその生成機構の解明などの研究指導を通して、創薬領域での高度な能力・広範な応用力・洞察力・想像力・高度な医療倫理観と国際性を持った創薬・育薬・製薬研究者、および多様化する医療ニーズを理解し得る薬学教育者・研究者の養成を目指しています。

研究においては、革新的な創薬・育薬研究、医歯薬栄養の実践的融合による薬学基礎研究、および新たな健康科学研究の展開を図ります。

## アドミッション・ポリシー

### ■博士課程 薬学専攻

薬学専攻では、生命科学に関心を持ち、高い倫理観と責任感をもって臨床に根ざした先端的研究能力を有する臨床薬剤師を志望する者、高度な職能を持つ専門薬剤師を志望する者、そして医療薬学研究者を志望する者で、未知の課題に対し自立して研究を遂行し国際的に通用する pharmacist-scientist を目指すとともに、後進を指導する能力を有する医療系薬学教育者への能力を修得しようとする意欲のある次のような人を求めています。

#### ●求める人物像

##### (知識・技能、関心・意欲)

薬学部で習得すべき基礎的かつ広範な知識や技能及び教養を有する人

薬剤師免許を有する人、もしくは取得する可能性のある人

生命科学を主体とする薬学に関わる広範な領域に強い関心と、医薬品の適正使用及び薬物治療の安全性確保に貢献する意欲を持ち、自ら未踏分野を開拓しようとする姿勢・態度を有する人

##### (思考力・判断力・表現力等の能力)

薬物療法の専門家として、習得した知識・技能を基盤に、思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を立案できる素養を有する人

自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の視点に立って表現できる人

##### (主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度)

薬物療法の専門家として、他職種の人と協働でき、活躍できる素養を有する人

チーム医療を推進できる協調性を有する人

#### ●入学者選抜の基本方針

##### 一般選抜

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

##### 社会人特別選抜

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

##### 外国人留学生特別選抜

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

##### 統合医療学際教育英語プログラム私費外国人留学生特別選抜

本プログラムでは21世紀における世界的課題である人間環境、栄養、保健、医療の分野における諸問題に対応できるように、世界の各国で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家を育成することを目的として、医学、栄養学、保健学、歯学、薬学に関する講義・実習・セミナーを全て英語で行います。入学選抜は、提出された書類に基づき行います。

## ■博士後期課程 創薬科学専攻

創薬科学専攻では、博士前期課程創薬科学専攻の方針に加え、創薬・製薬に関する未知の課題に対し自立して研究を遂行し、世界に向けて成果を発表するとともに後進を指導する能力を有する者の育成を目指しています。

### ●求める人物像

#### (知識・技能、関心・意欲)

創薬・製薬研究に関わる未知の課題を解決するために必要な、薬学の広範な知識・技能を有する人  
創薬・製薬研究に関わる広範な領域に強い関心とそれらの学びに対する意欲があり、独創的な研究を推進し、これを通じて創薬・製薬研究の発展に貢献しようとする姿勢・態度を有する人

#### (思考力・判断力・表現力等の能力)

創薬・製薬研究の専門家として、修得した専門知識及び教養を基盤に思考を深化、展開し、科学的根拠に基づいて未知の課題に対して適切な解法を見いだせる素養を有する人  
自分が伝えたいことを適切かつ簡潔に、相手の視点に立って表現できる人

#### (主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度)

創薬・製薬研究の専門家として、他分野の人と協働でき、活躍できる素養を有する人

### ●入学者選抜の基本方針

#### 一般選抜

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

#### 社会人特別選抜

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

#### 外国人留学生特別選抜

出願書類により知識・技能、関心・意欲を評価します。個別学力検査では、生命科学分野に関する設問に筆答させることで、思考力・表現力・判断力を評価します。口頭試問では出願書類に基づいた研究発表を実施し、思考力、判断力、表現力および態度を評価します。これらの結果を総合して判定します。

#### 統合医療学際教育英語プログラム私費外国人留学生特別選抜

本プログラムでは21世紀における世界的課題である人間環境、栄養、保健、医療の分野における諸問題に対応できるように、世界の各国で活躍できる教育・研究者及び行政の専門家を育成することを目的として、医学、栄養学、保健学、歯学、薬学に関する講義・実習・セミナーを全て英語で行います。入学選抜は、提出された書類に基づき行います。

## 各専攻に属する分野名

専攻名	分野名	専攻名	分野名
薬学専攻 博士課程	薬物治療学	創薬科学専攻 博士後期課程	有機合成薬学
	医薬品情報学		分析科学
	薬物動態制御学		生物有機化学
	神経病態解析学		薬品製造化学
	医薬品機能生化学		創薬理論化学
	医薬品病態生化学		生薬学
	臨床薬学実務教育学		天然物創薬学分野
	臨床病態学		分子創薬化学
			生命薬理学
			機能分子合成薬学
	衛生薬学		
	総合薬学研究推進学		
	生物薬品化学		
	薬物応答制御学		

薬学専攻

博士課程（4年制）

# 一般選抜学生募集要項（第1次・第2次）

## 1 募集分野及び募集人員について

専攻	入試区分等	募集分野	一般選抜	
			第1次	第2次
薬学専攻 博士課程		薬物治療学分野，医薬品情報学分野，薬物動態制御学分野， 神経病態解析学分野，医薬品機能生化学分野，医薬品病態 生化学分野，臨床薬学実務教育学分野，臨床病態学分野	4名	若干名

[注意] 1. 薬学専攻には、がん専門薬剤師・がん認定薬剤師を目指す上で受講することが望ましい科目をアドバンスド科目として設けた「がん専門薬剤師履修コース」もあります。

2. がん専門薬剤師履修コースの修学には、日本国の薬剤師免許が必要要件であるため、同コースの選択は薬剤師免許取得者に限ります。

## 2 出願資格について

一般選抜に出願することのできる者は、次の各号の一に該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学の医学，歯学又は修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者又は令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修したものに限り）又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育法における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限り。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り。）において，修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき，文部科学大臣が指定した者
  - ① 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
  - ② 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し，30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で大学院又は専攻科において，大学の医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者



- ③ 大学（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し，又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において2年以上研究に従事した者で，大学院又は専攻科において，当該研究の成果等により，大学の医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 大学（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し，又は外国において学校教育における16年の課程（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し，本研究科において，所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (9) 本研究科において，個別の入学資格審査により，第1号に規定する者と同等以上の学力があると認められた者で，令和7年4月1日現在で24歳に達している者

注1) (7)～(9)の出願資格により出願しようとする者は，次項「3 出願資格の認定について」を参照してください。

注2) 志願者は，出願前に志望する分野の担当教員に必ず連絡を取ってください。第1志望分野については，事前相談実施月日を記入してください。

(分野の研究概要31～32頁参照)

### 3 出願資格の認定について

(1) 出願資格(7)～(9)に該当する者は，次の提出書類を参考にして本研究科が認定します。

- ア 入学試験出願資格認定審査調書（所定の用紙）
- イ 研究業績調書（所定の用紙）
- ウ 研究概要（所定の用紙）
- エ 最終出身学校の成績証明書
- オ 最終出身学校の卒業証明書

(2) 出願資格認定書類提出期間等

① 提出期間

【第1次】 令和6(2024)年5月20日(月)～令和6(2024)年5月22日(水)17時まで（必着）

なお，認定された者は，所定の出願書類等を令和6年6月20日(木)までに提出してください。

【第2次】 令和6(2024)年9月16日(月)～令和6(2024)年9月18日(水)17時まで（必着）

なお，認定された者は，所定の出願書類等を令和6年10月17日(木)までに提出してください。

② 提出先

〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係

13頁の一般選抜，社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項へ続く

# 社会人特別選抜学生募集要項（第1次・第2次）

## 趣 旨

企業、医療関連機関、大学、病院薬局及び保険薬局等において、国民の健康・福祉の向上のため創薬や臨床を含めた生命医療薬学の教育・研究活動に関して幅広く指導的役割を果たせる薬剤師及び医療系薬学研究者・教育者の育成を目指します。

このため、病院薬局や保険薬局等で医療薬学の実践を担っている6年制薬学部卒業者、若しくはそれと同等以上の学力があると認められた社会人薬剤師を受け入れ、より高度な教育・研究の機会を提供します。また、企業や医療関連機関で研究活動に携わる6年制薬学部卒業者、若しくはそれと同等以上の学力がある研究者を受け入れ、より高度な教育・研究の機会を提供します。

大学院特論・講義の開講や各分野等演習、各分野等での博士論文研究は、夜間の時間帯や集中的に行うなどしてフレキシブルな方式で社会人にも対応できる活動の機会を設けて実施します。

## 1 募集分野及び募集人員について

専攻	入試区分等	募集分野	社会人特別選抜	
			第1次	第2次
薬学専攻 博士課程		薬物治療学分野，医薬品情報学分野，薬物動態制御学分野， 神経病態解析学分野，医薬品機能生化学分野，医薬品病態 生化学分野，臨床薬学実務教育学分野，臨床病態学分野	若干名	若干名

[注意] 1. 薬学専攻には、がん専門薬剤師・がん認定薬剤師を目指す上で受講することが望ましい科目をアドバンスド科目として設けた「がん専門薬剤師履修コース」もあります。

2. がん専門薬剤師履修コースの修学には、日本国の薬剤師免許が必要要件であるため、同コースの選択は薬剤師免許取得者に限ります。

## 2 出願資格について

社会人特別選抜に出願することのできる者は、病院、薬局、教育・研究機関、企業等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有し、所属長より受験許可を受けた者で、次の各号の一に該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者又は令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修したものに限り）又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育法における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限り。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国

の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者

- (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
- ① 防衛庁設置法(昭和29年法律第164号)による防衛医科大学校を卒業した者
  - ② 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者(学位規則の一部を改正する省令(昭和49年文部省令第29号)による改正前の学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1号に該当する者を含む。)で大学院又は専攻科において、大学の医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
  - ③ 大学(医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を除く。)を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 大学(医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程(医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に規定する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年4月1日現在で24歳に達している者

注1) (7)~(9)の出願資格により出願しようとする者は、次項「3 出願資格の認定について」を参照してください。

注2) 志願者は、出願前に志望する分野の担当教員に必ず連絡を取ってください。第1志望分野については、事前相談実施月日を記入してください。

(分野の研究概要31~32頁参照)

### 3 出願資格の認定について

(1) 出願資格(7)~(9)に該当する者は、次の提出書類を参考にして本研究科が認定します。

- ア 入学試験出願資格認定審査調書(所定の用紙)
- イ 研究業績調書(所定の用紙)
- ウ 研究概要(所定の用紙)
- エ 最終出身学校の成績証明書
- オ 最終出身学校の卒業証明書

(2) 出願資格認定書類提出期間等

① 提出期間

【第1次】 令和6(2024)年5月20日(月)~令和6(2024)年5月22日(水)17時まで(必着)

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年6月20日(木)までに提出してください。

【第2次】 令和6(2024)年9月16日(月)~令和6(2024)年9月18日(水)17時まで(必着)

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年10月17日(木)までに提出してください。

② 提出先

〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係

13頁の一般選抜、社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項へ続く

## 外国人留学生特別選抜学生募集要項（第1次・第2次）

### 1 募集分野及び募集人員について

専攻	入試区分等	募集分野	外国人留学生特別選抜	
			第1次	第2次
薬学専攻 博士課程		薬物治療学分野，医薬品情報学分野，薬物動態制御学分野， 神経病態解析学分野，医薬品機能生化学分野，医薬品病態 生化学分野，臨床薬学実務教育学分野，臨床病態学分野	若干名	若干名

### 2 出願資格について

外国人特別選抜に出願することのできる者は、日本の国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者、又は大学院入学後に在留資格を「留学」に変更可能な者で、日本語が理解できる次の各号の一に該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学の医学，歯学又は修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者又は令和7年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修したものに限り）又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育法における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限り。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
  - ① 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
  - ② 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で大学院又は専攻科において、大学の医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
  - ③ 大学（医学，歯学，修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学，研究所等において2年以上研究に従事し

た者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

- (8) 大学（医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程（医学、歯学、修業年限6年の薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に規定する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年4月1日現在で24歳に達している者

注1) (7)~(9)の出願資格により出願しようとする者は、次項「3 出願資格の認定について」を参照してください。

注2) 志願者は、出願前に志望する分野の担当教員に必ず連絡を取ってください。第1志望分野については、事前相談実施月日を記入してください。

(分野の研究概要31~32頁参照)

### 3 出願資格の認定について

(1) 出願資格(7)~(9)に該当する者は、次の提出書類を参考にして本研究科が認定します。

- ア 入学試験出願資格認定審査調書（所定の用紙）
- イ 研究業績調書（所定の用紙）
- ウ 研究概要（所定の用紙）
- エ 最終出身学校の成績証明書
- オ 最終出身学校の卒業証明書

(2) 出願資格認定書類提出期間等

① 提出期間

【第1次】 令和6(2024)年5月20日(月)~令和6(2024)年5月22日(水)17時まで（必着）

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年6月20日(木)までに提出してください。

【第2次】 令和6(2024)年9月16日(月)~令和6(2024)年9月18日(水)17時まで（必着）

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年10月17日(木)までに提出してください。

② 提出先

〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係

### 4 徳島大学留学生ポータルについて

徳島大学ホームページに、外国に住んでいて徳島大学へ留学を希望している方のために開設した「徳島大学留学生ポータル」サイトがありますので、お知らせします。

学部・大学院の概要、教員・研究者紹介、入学までの手続き、各種奨学金、留学生宿舍、就職・進路などを説明しています。このサイトにより、徳島大学を知るための参考としてください。

徳島大学留学生ポータル (<http://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/>) → 大学院への留学

## 一般選抜，社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項（第1次・第2次）

### 1 出願時提出書類について

入 学 願 書	所定の用紙に必要な事項を記入してください。
大 学 学 部 卒業(見込み)証明書	出身大学等が作成したもの。 ただし，本学薬学部卒業（見込み）者は不要です。また，出願資格の認定を受けた者も不要です。
大 学 学 部 成 績 証 明 書	出身大学等が作成し，厳封したもの。 ただし，本学薬学部卒業（見込み）者は不要です。また，出願資格の認定を受けた者も不要です。
研 究 概 要	研究概要を所定の用紙を用い2,000字程度にまとめてください。なお，関連した論文の別刷又は学術講演，特許等がある場合は，コピーを添付してください。 ただし，出願資格の認定を受けた者は不要です。
研 究 業 績 調 書	上記研究概要の他に研究業績を有する者は，所定の用紙に記入してください。 なお，関連した論文の別刷等のコピーを，氏名を明記したうえ添付してください。 ただし，出願資格の認定を受けた者は不要です。
受 験 票	所定の用紙に必要な事項を記入し，出願前3か月以内に単身撮影した写真（上半身，脱帽，正面向）を貼ってください。
検 定 料	30,000円 所定の用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口から払い込んでください。検定料を払い込んだ後，受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）に貼って提出してください。 〔本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し，引き続き進学する者及び日本国政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要〕 なお，海外在住の志願者については，クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS等）又は中国銀聯カードによる払込みが可能です。海外からの出願方法等については「12頁4 徳島大学留学生ポータルについて」を参照ください。
受 験 許 可 書	大学院博士課程（4年制）もしくは博士後期課程に在学中の者，官公庁，会社，病院，薬局等に在職中の者は，所属長の受験許可書を添付してください。（所定の用紙）
返 信 用 封 筒	郵送で出願書類を提出する者は，速達に必要な切手を貼った自己あて（住所氏名表記）の長形3号封筒（23.5cm×12cm）を同封してください。（受験票送付用）
住 民 票 の 写 し	本邦に在留する外国人は，住民票（在留資格が記載されたもの）の写しを添付してください。
あ て 名 票	所定の用紙に郵便番号，住所，氏名を明記してください。

（注）既納の検定料は，いかなる理由があっても返納できません。

## 2 出願期間・受付場所について

### (1) 出願期間

【第1次】 令和6(2024)年6月18日(火)から令和6(2024)年6月20日(木)17時まで(必着)

【第2次】 令和6(2024)年10月15日(火)から令和6(2024)年10月17日(木)17時まで(必着)

※入学志願者は、出願時提出書類をそろえ、出願期間内に郵送又は持参してください。

※郵送する場合は「書留」とし、「薬学研究科博士課程学生募集願書在中」と朱書してください。

### (2) 受付場所 〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係

## 3 安全保障輸出管理について

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/yusyutsu.html>

## 4 選抜方法について

(1) 入学者の選抜は、学力試験、口頭試問、在学又は出身大学等が作成した成績証明書等を総合して判断します。

### (2) 試験日等

	年 月 日	時 間	試 験 科 目 等	
第1次	令和6(2024)年 7月13日(土)	9:00~10:00	英 語	英和辞書貸与
		10:30~	口頭試問	研究発表と質疑応答等
第2次	令和6(2024)年 11月9日(土)	9:00~10:00	英 語	英和辞書貸与
		10:30~	口頭試問	研究発表と質疑応答等

(3) 試験場所 徳島大学薬学部内(徳島市庄町1丁目78番地の1)

(4) 口頭試問 研究発表と質疑応答

研究概要・研究業績を中心に、約15分以内の口頭発表を行い、その研究内容に関連する質疑応答等を約10分間行います。

※口頭試問の際の発表について

- ・各自の研究内容の発表において、データプロジェクト及びノートパソコンを用意します。それ以外の機器(OHP, 資料提示装置)の使用を希望する場合は、事前に申し出てください。
- ・自分の口頭試問の前に、USBメモリー等を各自でセットしてください。
- ・各自が自分のパソコンを当日持参し使用しても構いませんが、その場合は必ず事前に申し出てください。

## 5 障がいのある入学志願者について

薬学研究科に入学を志願する者で、障がいのある者は、受験上及び修学上配慮の方法を検討する必要がありますので、事前に徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係まで申し出てください。

(志願者は、出願前に志望する分野の担当教員と連絡をとるときには、障がいのあることについても相談してください。)

## 6 合格者発表について

以下の日時に本学薬学部ホームページ [入試案内] に掲載するとともに、合格者には本人あて郵送で通知します。

なお、電話、メール等による合否についての照会には応じられません。

【第1次】 令和6(2024)年8月1日(休) 9時

【第2次】 令和6(2024)年12月19日(休) 9時

## 7 入学に必要な経費について

(1) 入学料 282,000円

※本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し、引き続き進学する者及び日本国政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。

(2) 諸経費 約65,000円(学生教育研究災害傷害保険料等)

※参考：授業料(前期分)267,900円(年間535,800円)

(3) その他注意事項

- ・入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。
- ・授業料は、希望により前期分又は年額を納入することができます。
- ・在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 8 個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、その他個人情報)は、入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務に利用します。

また、合格者の入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金援助等)、授業料等に関する業務、個人を特定しない統計資料等作成を行う目的をもって本学が管理します。

## 9 その他

(1) 入学願書受付後は、提出した書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。

(2) 入学願書等を郵便で請求するときは、「薬学研究科博士課程募集要項請求」と朱書きのうえ、郵送に必要な切手を貼った自己あて(住所氏名表記)の角形2号封筒(33.2cm×24.0cm)を同封して請求してください。

(3) 出願書類等に質問があれば、郵送に必要な切手を貼った自己あて(住所氏名表記)の返信用封筒(定形封筒)を同封のうえ、徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係へ照会してください。

その際、電話番号も明記してください。

(4) 合格し入学した場合、学内で実施する健康診断を必ず受診してください。

(5) 受験者本人からの開示請求に基づき、本人の入学試験の個人成績等を開示します。



創 薬 科 学 専 攻

博士後期課程（3年制）

## 一般選抜学生募集要項（第1次・第2次）

### 1 募集分野及び募集人員について

専攻	入試区分等	募集分野	一般選抜	
			第1次	第2次
創薬科学専攻 博士後期課程		有機合成薬学分野，分析科学分野，生物有機化学分野，薬品製造化学分野，創薬理論化学分野，生薬学分野，天然物創薬学分野，分子創薬化学分野，生命薬理学分野，機能分子合成薬学分野，衛生薬学分野，総合薬学研究推進学分野，生物薬品化学分野	10名	若干名

### 2 出願資格について

一般選抜に出願することのできる者は、次の各号の一に該当する者とします。

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
  - ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に規定する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年4月1日現在で24歳に達している者

注1) (6)～(8)の出願資格により出願しようとする者は、次項「3 出願資格の認定について」を参照してください。

注2) 志願者は、出願前に志望する分野の担当教員に必ず連絡を取ってください。第1志望分野については、事前相談実施月日を記入してください。

(分野の研究概要33～35頁参照)

### 3 出願資格の認定について

(1) 出願資格(6)～(8)に該当する者は、次の提出書類を参考にして本研究科が認定します。

- ア 入学試験出願資格認定審査調書（所定の用紙）
- イ 研究業績調書（所定の用紙）
- ウ 研究概要（所定の用紙）
- エ 最終出身学校の成績証明書
- オ 最終出身学校の卒業証明書

(2) 出願資格認定書類提出期間等

① 提出期間

【第1次】 令和6(2024)年5月20日(月)～令和6(2024)年5月22日(水) 17時まで（必着）

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年6月20日(木)までに提出してください。

【第2次】 令和6(2024)年9月16日(月)～令和6(2024)年9月18日(水) 17時まで（必着）

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年10月17日(木)までに提出してください。

② 提出先

〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係

25 頁の一般選抜, 社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項へ続く

## 社会人特別選抜学生募集要項（第1次・第2次）

### 趣 旨

企業、医療関連機関、大学、病院薬局及び保険薬局等において、国民の健康・福祉の向上のため創薬や臨床を含めた生命医療薬学の教育・研究に関して独創性・国際的力量を持った薬学研究者・教育者の育成を目指します。

このため、企業や医療関連機関で研究活動に携わる修士課程修了、若しくはそれと同等以上の学力がある研究者を受け入れ、より高度な教育・研究の機会を提供します。また、すでに病院薬局や保険薬局等で医療薬学の実践を担っている修士課程修了、若しくはそれと同等以上の学力があると認められた社会人薬剤師も受け入れ、より高度な教育・研究の機会を提供します。

大学院特論・講義の開講や各分野等演習、各分野等での博士論文研究は、夜間の時間帯や集中的に行うなどしてフレキシブルな方式で社会人にも対応できる活動の機会を設けて実施します。

### 1 募集分野及び募集人員について

入試区分等 専攻	募集分野	社会人特別選抜	
		第1次	第2次
創薬科学専攻 博士後期課程	有機合成薬学分野、分析科学分野、生物有機化学分野、薬品製造化学分野、創薬理論化学分野、生薬学分野、天然物創薬学分野、分子創薬化学分野、生命薬理学分野、機能分子合成薬学分野、衛生薬学分野、総合薬学研究推進学分野、生物薬品化学分野	若干名	若干名

### 2 出願資格について

社会人特別選抜に出願することのできる者は、病院、薬局、教育・研究機関、企業等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有し、所属長より受験許可を受けた者で、次の各号の一に該当する者とします。

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
  - ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の

学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に規定する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7年4月1日現在で24歳に達している者

注1) (6)~(8)の出願資格により出願しようとする者は、次項「3 出願資格の認定について」を参照してください。

注2) 志願者は、出願前に志望する分野の担当教員に必ず連絡を取ってください。第1志望分野については、事前相談実施月日を記入してください。

(分野の研究概要33~35頁参照)

### 3 出願資格の認定について

(1) 出願資格(6)~(8)に該当する者は、次の提出書類を参考にして本研究科が認定します。

- ア 入学試験出願資格認定審査調書(所定の用紙)
- イ 研究業績調書(所定の用紙)
- ウ 研究概要(所定の用紙)
- エ 最終出身学校の成績証明書
- オ 最終出身学校の卒業証明書

(2) 出願資格認定書類提出期間等

① 提出期間

【第1次】 令和6(2024)年5月20日(月)~令和6(2024)年5月22日(水)17時まで(必着)

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年6月20日(木)までに提出してください。

【第2次】 令和6(2024)年9月16日(月)~令和6(2024)年9月18日(水)17時まで(必着)

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年10月17日(木)までに提出してください。

② 提出先

〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係

25頁の一般選抜, 社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項へ続く

## 外国人留学生特別選抜学生募集要項（第1次・第2次）

### 1 募集分野及び募集人員について

入試区分等 専攻	募集分野	外国人留学生特別選抜	
		第1次	第2次
創薬科学専攻 博士後期課程	有機合成薬学分野，分析科学分野，生物有機化学分野，薬品製造化学分野，創薬理論化学分野，生薬学分野，天然物創薬学分野，分子創薬化学分野，生命薬理学分野，機能分子合成薬学分野，衛生薬学分野，総合薬学研究推進学分野，生物薬品化学分野	若干名	若干名

### 2 出願資格について

外国人特別選抜に出願することのできる者は、日本の国籍を有しない者で、出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者、又は大学院入学後に在留資格を「留学」に変更可能な者で、日本語が理解できる次の各号の一に該当する者としてします。

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 学校教育法施行規則第156条第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者
  - ① 大学を卒業し、又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
  - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に規定する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年4月1日現在で24歳に達している者

注1) (6)～(8)の出願資格により出願しようとする者は、次項「3 出願資格の認定について」を参照してください。

注2) 志願者は、出願前に志望する分野の担当教員に必ず連絡を取ってください。第1志望分野については、事前相談実施月日を記入してください。

(分野の研究概要33～35頁参照)

### 3 出願資格の認定について

(1) 出願資格(6)～(8)に該当する者は、次の提出書類を参考にして本研究科が認定します。

- ア 入学試験出願資格認定審査調書（所定の用紙）
- イ 研究業績調書（所定の用紙）
- ウ 研究概要（所定の用紙）
- エ 最終出身学校の成績証明書
- オ 最終出身学校の卒業証明書

(2) 出願資格認定書類提出期間等

① 提出期間

【第1次】 令和6(2024)年5月20日(月)～令和6(2024)年5月22日(水)17時まで（必着）

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年6月20日(木)までに提出してください。

【第2次】 令和6(2024)年9月16日(月)～令和6(2024)年9月18日(水)17時まで（必着）

なお、認定された者は、所定の出願書類等を令和6年10月17日(木)までに提出してください。

② 提出先

〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係

### 4 徳島大学留学生ポータルについて

徳島大学ホームページに、外国に住んでいて徳島大学へ留学を希望している方のために開設した「徳島大学留学生ポータル」サイトがありますので、お知らせします。

学部・大学院の概要、教員・研究者紹介、入学までの手続き、各種奨学金、留学生宿舎、就職・進路などを説明しています。このサイトにより、徳島大学を知るための参考としてください。

徳島大学留学生ポータル (<http://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/>) → 大学院への留学

25 頁の一般選抜, 社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項へ続く

## 一般選抜，社会人・外国人留学生特別選抜 共通事項（第1次・第2次）

### 1 出願時提出書類について

入 学 願 書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
修士(博士前期)課程 修了(見込み)証明書	出身大学院等が作成したもの。 ただし，本研究科博士前期課程修了（見込み）者は不要です。また，出願資格の認定を受けた者も不要です。
修士(博士前期)課程 成績 証 明 書	出身大学院等が作成し，厳封したもの。 ただし，本研究科博士前期課程修了（見込み）者は不要です。また，出願資格の認定を受けた者も不要です。
研 究 概 要	修士論文，又はこれに代わる研究概要を所定の用紙を用い2,000字程度にまとめてください。なお，関連した論文の別刷又は学術講演，特許等がある場合は，コピーを添付してください。 ただし，出願資格の認定を受けた者は不要です。
研 究 業 績 調 書	上記研究概要の他に研究業績を有する者は，所定の用紙に記入してください。 なお，関連した論文の別刷等のコピーを，氏名を明記したうえ添付してください。 ただし，出願資格の認定を受けた者は不要です。
受 験 票	所定の用紙に必要事項を記入し，出願前3か月以内に単身撮影した写真（上半身，脱帽，正面向）を貼ってください。
検 定 料	30,000円 所定の用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口から払い込んでください。検定料を払い込んだ後，受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）に貼って提出してください。 〔本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し，引き続き進学する者及び日本国政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要〕 なお，海外在住の志願者については，クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS等）又は中国銀聯カードによる払込みが可能です。海外からの出願方法等については「24頁4 徳島大学留学生ポータルについて」を参照ください。
受 験 許 可 書	大学院博士課程（4年制）もしくは博士後期課程に在学中の者及び，官公庁，会社，病院，薬局等に在職中の者は，所属長の受験許可書を添付してください。（所定の用紙）
返 信 用 封 筒	郵送で出願書類を提出する者は，速達に必要な切手を貼った自己あて（住所氏名表記）の長形3号封筒（23.5cm×12cm）を同封してください。（受験票送付用）
住 民 票 の 写 し	本邦に在留する外国人は，住民票（在留資格が記載されたもの）の写しを添付してください。
あ て 名 票	所定の用紙に郵便番号，住所，氏名を明記してください。

（注）既納の検定料は，いかなる理由があっても返納できません。



## 2 出願期間・受付場所について

### (1) 出願期間

【第1次】 令和6(2024)年6月18日(火)から令和6(2024)年6月20日(木)17時まで(必着)

【第2次】 令和6(2024)年10月15日(火)から令和6(2024)年10月17日(木)17時まで(必着)

※入学志願者は、出願時提出書類をそろえ、出願期間内に郵送又は持参してください。

※郵送する場合は「書留」とし、「薬学研究科博士後期課程学生募集願書在中」と朱書してください。

### (2) 受付場所 〒770-8505 徳島市庄町1丁目78番地の1

徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係

## 3 安全保障輸出管理について

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/yusyutsu.html>

## 4 選抜方法について

(1) 入学者の選抜は、学力試験、口頭試問、在学又は出身大学院等が作成した成績証明書等を総合して判断します。

### (2) 試験日等

	年 月 日	時 間	試 験 科 目 等	
第1次	令和6(2024)年 7月13日(土)	9:00~10:00	英 語	英和辞書貸与
		10:30~	口頭試問	研究発表と質疑応答等
第2次	令和6(2024)年 11月9日(土)	9:00~10:00	英 語	英和辞書貸与
		10:30~	口頭試問	研究発表と質疑応答等

(3) 英語試験 一般選抜及び社会人特別選抜出願資格(1)で本研究科において令和7年3月31日までに修士の学位を授与される見込みの者は免除します。

(4) 試験場所 徳島大学薬学部内(徳島市庄町1丁目78番地の1)

(5) 口頭試問 研究発表と質疑応答

修士論文又はこれに代わる研究業績を中心に、約15分以内の口頭発表を行い、その研究内容に関連する質疑応答等を約10分間行います。

※口頭試問の際の発表について

- ・各自の研究内容の発表において、データプロジェクト及びノートパソコンを用意します。それ以外の機器(OHP、資料提示装置)の使用を希望する場合は、事前に申し出てください。
- ・自分の口頭試問の前に、USBメモリー等を各自でセットしてください。
- ・各自が自分のパソコンを当日持参し使用しても構いませんが、その場合は必ず事前に申し出てください。

## 5 障がいのある入学志願者について

薬学研究科に入学を志願する者で、障がいのある者は、受験上及び修学上配慮の方法を検討する必要がありますので、事前に徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係まで申し出てください。

(志願者は、出願前に志望する分野の担当教員と連絡をとるときには、障がいのあることについても相談してください。)

## 6 合格者発表について

以下の日時に本学薬学部ホームページ [入試案内] に掲載するとともに、合格者には本人あて郵送で通知します。

なお、電話、メール等による合否についての照会には応じられません。

【第1次】 令和6(2024)年8月1日(休) 9時

【第2次】 令和6(2024)年12月19日(休) 9時

## 7 入学に必要な経費について

(1) 入学料 282,000円

※本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し、引き続き進学する者及び日本国政府(文部科学省)国費外国人留学生は不要です。

(2) 諸経費 約56,000円(学生教育研究災害傷害保険料等)

※参考：授業料(前期分)267,900円(年間535,800円)

(3) その他注意事項

- ・入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。
- ・授業料は、希望により前期分又は年額を納入することができます。
- ・在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 8 個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載された個人情報(氏名、生年月日、その他個人情報)は、入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務に利用します。

また、合格者の入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金援助等)、授業料等に関する業務、個人を特定しない統計資料等作成を行う目的をもって本学が管理します。

## 9 その他

(1) 入学願書受付後は、提出した書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。

(2) 入学願書等を郵便で請求するときは、「薬学研究科博士後期課程募集要項請求」と朱書きのうえ、郵送に必要な切手を貼った自己あて(住所氏名表記)の角形2号封筒(33.2cm×24.0cm)を同封して請求してください。

(3) 出願書類等に質問があれば、郵送に必要な切手を貼った自己あて(住所氏名表記)の返信用封筒(定形封筒)を同封のうえ、徳島大学蔵本事務部薬学部事務課学務係へ照会してください。

その際、電話番号も明記してください。

(4) 合格し入学した場合、学内で実施する健康診断を必ず受診してください。

(5) 受験者本人からの開示請求に基づき、本人の入学試験の個人成績等を開示します。

徳島大学大学院  
薬学研究科概要

## ■ 分野の研究概要 (令和6年5月現在)

### 薬学専攻博士課程

薬物治療学分野 (教授 金沢 貴憲)

[kanazawa@tokushima-u.ac.jp](mailto:kanazawa@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7466

- 1) 脳内特定疾患領域を標的とする Nose-to-Brain 型 RNA ナノ治療薬の開発
- 2) 糖尿病根治に向けた膵β細胞再生を誘導する膵島集積型 RNA ナノ治療薬の開発
- 3) RNA ナノ治療薬の適正使用のための製剤化技術の開発と品質評価に関する研究
- 4) 新規脳神経疾患治療の開拓に向けた細胞由来ナノ材料の生体機能評価に関する研究

医薬品情報学分野 (教授 佐藤 陽一, 助教 長崎 裕加)

[youichi.sato@tokushima-u.ac.jp](mailto:youichi.sato@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7253

[nagasaki.yuka@tokushima-u.ac.jp](mailto:nagasaki.yuka@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7266

- 1) 医薬品適正使用に向けた疫学的研究
- 2) ゲノム情報に基づいた個別化医療の実現に向けた研究
- 3) 男性不妊症原因遺伝子の同定と治療法の開発研究

薬物動態制御学分野 (教授 石田 竜弘, 准教授 安藤 英紀)

[ishida@tokushima-u.ac.jp](mailto:ishida@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7260

[h.ando@tokushima-u.ac.jp](mailto:h.ando@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7259

- 1) 生体機能に立脚した新規ドラッグ・デリバリー・システム (DDS) の開発
- 2) 薬物の体内動態・細胞内動態制御による新規治療システムの構築
- 3) ナノ DDS デバイスのリスク・安全性の評価とその対応策に関する研究
- 4) DDS 技術を利用した新規バイオ医薬品の開発と実用化に関する研究
- 5) 独自開発したナノ材料を用いた医用応用に関する研究

神経病態解析学分野 (准教授 笠原 二郎)

[awajiro@tokushima-u.ac.jp](mailto:awajiro@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7278

- 1) 神経変性疾患の分子生物学的病態解析と薬物療法
- 2) 脳梗塞 (虚血性脳疾患) の病態解明と薬物療法
- 3) 細胞内シグナル伝達機構と中枢神経機能の関わり
- 4) 気分障害とその治療薬作用の分子機構および予防法の研究

医薬品機能生化学分野（教授 土屋 浩一郎，助教 今西 正樹）

[tsuchiya@tokushima-u.ac.jp](mailto:tsuchiya@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7250

[imanishi@tokushima-u.ac.jp](mailto:imanishi@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7252

- 1) 生体内酸化ストレス評価法の開発と診断，治療への応用に関する研究
- 2) 硝酸塩，亜硝酸塩の生理的役割の解明に関する研究
- 3) 血管構成細胞とがん細胞との相互作用に関する研究
- 4) がん組織における低酸素応答に関する研究
- 5) 抗がん剤治療が血管に与える影響に関する研究

医薬品病態生化学分野（教授 山崎 哲男，助教 片山 将一）

[tyamazak@tokushima-u.ac.jp](mailto:tyamazak@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7886

[s-katayama@tokushima-u.ac.jp](mailto:s-katayama@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7256

- 1) タンパク質凝集体難病の病態解明と治療法開発
- 2) 小胞体マニピュレーションの分子機序解明と治療応用
- 3) 小胞体マニピュレータードラッグの探索
- 4) 遺伝性神経変性疾患の病態解明と治療法開発

臨床薬学実務教育学分野（教授 阿部 真治，助教 佐藤 智恵美，助教 川田 敬，  
助教 山本 高成）

[ashinji@tokushima-u.ac.jp](mailto:ashinji@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7562

[sato.chiemi@tokushima-u.ac.jp](mailto:sato.chiemi@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7562

[kawada.kei@tokushima-u.ac.jp](mailto:kawada.kei@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7562

[yamamoto.takaaki@tokushima-u.ac.jp](mailto:yamamoto.takaaki@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7562

- 1) 悪性腫瘍に対する新規抗体医薬の開発研究
- 2) システムティックレビューおよびメタ解析に基づく医薬品の有効性・安全性の評価研究
- 3) 社会ニーズに即した薬剤師養成の新規手法構築に関する教育研究

臨床病態学分野（教授 井崎 ゆみ子）

予防医学及び疾病の早期発見早期治療に関する研究を行う。

- 1) ストレス，生活習慣に関連する疾患の予防と早期発見
- 2) 情報技術を用いた効率的健康管理方法の研究
- 3) 精神疾患の早期発見，早期対応に関する研究

## 創薬科学専攻博士後期課程

有機合成薬学分野（教授 難波 康祐，講師 Karanjit Sangita，助教 佐藤 亮太）

[namba@tokushima-u.ac.jp](mailto:namba@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7293

[karanjit@tokushima-u.ac.jp](mailto:karanjit@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7294

[rsato@tokushima-u.ac.jp](mailto:rsato@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9538

- 1) 複雑な微量生物活性天然物の全合成研究
- 2) アルカリ性不良土壌の緑地化研究と鉄イオン吸収メカニズムの解明研究
- 3) 作用機序機能解明ツールの開発
- 4) 新規触媒反応の開発

分析科学分野（教授 田中 秀治，准教授 竹内 政樹）

[h.tanaka@tokushima-u.ac.jp](mailto:h.tanaka@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7285

[masaki.takeuchi@tokushima-u.ac.jp](mailto:masaki.takeuchi@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7286

- 1) 流量変化を利用するフロー分析法（振幅変調多重化フロー分析法，フィードバック制御フローレイシヨメトリー）
- 2) 画像撮影・測色法に基づくフロー分析法
- 3) オンライン濃縮装置の開発
- 4) 越境大気汚染物質モニタの開発
- 5) 水環境汚染物質測定装置の開発
- 6) フロー分析法の自動化のためのソフトウェア開発

生物有機化学分野（教授 南川 典昭，准教授 田良島 典子，特任助教 月本 準）

[minakawa@tokushima-u.ac.jp](mailto:minakawa@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7288

[noriko.tarashima@tokushima-u.ac.jp](mailto:noriko.tarashima@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9539

- 1) ヌクレオシド・ヌクレオチド・オリゴヌクレオチドの化学
- 2) 有機化学的・進化分子工学的手法による人工核酸の創製と核酸医薬への展開
- 3) 人工核酸の活用による生体反応や機能の解明
- 4) 環状ヌクレオチド類を基盤とした医薬化学研究
- 5) 人工核酸を活用する mRNA 医薬の高機能化

薬品製造化学分野（教授 山田 健一，講師 猪熊 翼）

[yamak@tokushima-u.ac.jp](mailto:yamak@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7281

[tinokuma@tokushima-u.ac.jp](mailto:tinokuma@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9532

- 1) 高反応性活性種の制御に基づく新規分子変換法の開拓
- 2) 活性種の特性を活かした高官能基選択的な変換反応の開拓
- 3) 不斉触媒の分子設計と触媒的不斉合成法の開拓
- 4) 生物活性評価を指向した非天然有機化合物の化学合成
- 5) 生体関連分子の新規精密有機合成法開発

創薬理論化学分野（教授 立川 正憲, 助教 稲垣 舞）

[tachikaw@tokushima-u.ac.jp](mailto:tachikaw@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7257

[inagaki.m@tokushima-u.ac.jp](mailto:inagaki.m@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9527

- 1) 脳関門輸送機構に基づく難治性中枢疾患治療薬の分子設計
- 2) ヒト胎盤関門輸送機構の解明に基づく周産期疾患の治療法と妊娠期の薬物投与設計法の開発
- 3) マイクロ流体モデルに基づくヒト生体関門の再構築と疾患薬動力学研究への応用
- 4) 中・高分子脳関門突破機構の解明と人工細胞への挑戦
- 5) 薬物の細胞レベルでの時空間分布精密制御法の基盤構築

生薬学分野（准教授 田中 直伸）

[ntanak@tokushima-u.ac.jp](mailto:ntanak@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7275

- 1) 新規天然物質の探索研究及びその生物活性に関する研究
- 2) 各種生物活性天然物質の化学的修飾と構造活性相関に関する研究
- 3) 地域特産品や未利用天然資源の有効利用に関する研究
- 4) 繁用重要生薬の化学的再検討
- 5) 民族薬物に関する調査とその医薬資源としての科学的評価に関する研究

天然物創薬学分野

分子創薬化学分野（教授 佐野 茂樹, 講師 中尾 允泰）

[ssano@tokushima-u.ac.jp](mailto:ssano@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7273

[mnakao@tokushima-u.ac.jp](mailto:mnakao@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7272

- 1) ヘテロ環化合物の分子構造特性を活用する機能性分子の創製
- 2) ヘテロ原子の特性を活用する高立体選択的反応の開発
- 3) ヘテロ環化合物合成を基盤とする医薬品・農薬素材の探索
- 4) ヘテロ原子の特性を活用する蛍光標識剤の創製

生命薬理学分野（教授 藤野 裕道, 助教 福島 圭穰）

[hfujino@tokushima-u.ac.jp](mailto:hfujino@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7263

[keijo.fukushima@tokushima-u.ac.jp](mailto:keijo.fukushima@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9528

- 1) 薬物受容体の情報伝達調節機構に関する研究
- 2) ガンなどの病態へのプロスタノイド受容体の役割の解析
- 3) リガンドのバイアス性の生理的意義の解明
- 4) ビッグデータを用いた病態と受容体のシグナル解析

機能分子合成薬学分野（教授 大高 章, 助教 傳田 将也）

[aotaka@tokushima-u.ac.jp](mailto:aotaka@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7283

[denda.masaya@tokushima-u.ac.jp](mailto:denda.masaya@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9534

- 1) 生体機能探索分子の設計と合成
- 2) 生体機能探索分子創製のための方法論の開発
- 3) ペプチド・タンパク質化学先導型ケミカルバイオロジーの開拓
- 4) ペプチド・タンパク質修飾反応の開発

衛生薬学分野（教授 小暮 健太郎, 准教授 山崎 尚志, 助教 米田 晋太郎）

[kogure@tokushima-u.ac.jp](mailto:kogure@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7248

[nyamazaki@tokushima-u.ac.jp](mailto:nyamazaki@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9516

[yoneda.s@tokushima-u.ac.jp](mailto:yoneda.s@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9515

- 1) 微弱電流による細胞生理の制御メカニズムの解明
- 2) ビタミンE誘導体を基盤とした安全な抗肥満薬の開発
- 3) ナノ粒子を利用した新規脳梗塞治療法の開発
- 4) 改変 U1 snRNA 分子による遺伝子発現制御法の開発
- 5) RNA 編集メカニズム解明とその制御法に関する研究

総合薬学研究推進学分野（准教授 大井 高）

[takashiooi@tokushima-u.ac.jp](mailto:takashiooi@tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 7289

- 1) 海洋生物からの医薬資源の単離, 構造決定
- 2) 海洋環境化学（海洋生物のエコロジカルサイエンス）

生物薬品化学分野（教授 篠原 康雄（先端酵素学研究所））

[yshinoha@genome.tokushima-u.ac.jp](mailto:yshinoha@genome.tokushima-u.ac.jp) 088 - 633 - 9145

- 1) 生体エネルギー産生機構と薬物の作用
- 2) 褐色脂肪細胞に特徴的なエネルギー代謝系の解析
- 3) ミトコンドリアのタンパク質の構造と機能

（連携講座）

薬物応答制御学分野（客員教授 大西 敬人）



## ■ 授業科目及び単位数等

### 薬学専攻博士課程, 薬学専攻博士課程 [がん専門薬剤師履修コース]

区 分	授 業 科 目	単 位 数		
		必修	選択	自由選択
共通カリキュラム科目	英 語 論 文 作 成 法	2		
	ク ラ ス タ ー コ ア セ ミ ナ ー		2	
	生 命 倫 理 概 論		2	
	臨 床 心 理 学		2	
	社 会 医 学 ・ 疫 学 ・ 医 学 統 計 概 論		2	
	生 命 科 学 の 研 究 手 法		2	
	ゲ ノ ム 創 薬 特 論		2	
	健 康 食 品 ・ 漢 方		2	
	医 療 系 分 野 に お け る 知 的 財 産 学 概 論		2	
	宇 宙 と 栄 養 ・ 医 学 概 論		2	
生 命 科 学 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 特 論		2		
専 門 科 目	臨 床 薬 物 動 態 学 特 論 *		2	
	実 践 医 薬 品 情 報 学 特 論 *		2	
	医 薬 品 開 発 特 論 *		2	
	臨 床 病 態 学 特 論 *		2	
	が ん 専 門 薬 剤 師 特 論 **		2	
	集 学 的 治 療 薬 特 論 **		2	
	育 薬 共 通 演 習 *		2	
	医 療 薬 学 実 践 演 習 *		2	
	が ん チ ー ム 医 療 演 習 **		2	
	が ん 薬 物 治 療 実 践 演 習 **		2	
薬 学 演 習	7			
専 攻 公 開 ゼ ミ ナ ー ル	1			
薬 学 課 題 研 究	10			
ア ド バ ン ス ド 科 目	悪 性 腫 瘍 の 管 理 と 治 療			1
	医 療 倫 理 ・ 医 療 対 話 学			1
	が ん の ベ ー シ ッ ク サ イ エ ン ス と 臨 床 薬 理 学			1
	が ん の 臨 床 検 査 ・ 病 理 診 断 ・ 放 射 線 診 断 学			0.5
	が ん 治 療 各 論			2
が ん 緩 和 治 療			0.5	
が ん 治 療 薬 特 論			2	

備考 講義, 演習は15時間, 実習, 実験実習は30時間をもって1単位とする。

#### 修了要件

必修科目20単位, 選択科目から10単位以上, 合計30単位以上修得し, かつ必要な研究指導を受けた上で, 本研究科が行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

#### 選択科目の履修方法

1. 共通カリキュラム科目の選択科目から2単位以上修得すること。ただし, がん専門薬剤師履修コースは, クラスタークォアセミナーを除く共通カリキュラム科目の選択科目から2単位以上修得すること。
2. \*印専門科目から育薬共通演習, 医療薬学実践演習を含めて8単位以上修得すること。ただし, がん専門薬剤師履修コースは, \*\*印専門科目8単位を修得すること。

## 創薬科学専攻博士後期課程

区 分	授 業 科 目	単 位 数	
		必 修	選 択
専 門 科 目	創 薬 研 究 実 践 特 論	2	
	創 薬 科 学 演 習	5	
	専 攻 公 開 ゼ ミ ナ ー ル	1	
	ケミカルバイオロジー共通演習		2
	機能分子共通演習		2
	資源・環境共通演習		2

備考 講義，演習は15時間，実習，実験実習は30時間をもって1単位とする。

### 修了要件

必修科目8単位，選択科目から2単位以上，合計10単位以上修得し，かつ必要な研究指導を受けた上で，本研究科が行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

# 出願時提出書類

# 令和7年度徳島大学大学院薬学研究科博士課程・博士後期課程入学願書

(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜) いずれかを○で囲んでください。

令和 年 月 日			
徳島大学長 殿			
貴学大学院薬学研究科博士課程・博士後期課程に入学したいので お願いいたします。			
ふりがな 氏名	昭和 年 月 日生 ( 歳) 性別 男・女		
生年月日	昭和 平成 年 月 日生 ( 歳) 性別 男・女		
出願資格等	昭和 平成 令和 年 月 大学 学部 学科 卒業		
	昭和 平成 令和 年 月 大学大学院 教育部(修士・博士前期) 研究科(修士・博士前期) 専攻(修了・修了見込)		
修士論文 題目			
本籍	(都道府県名のみ) (外国籍の者は国名)		
現住所	〒 Tel		
受信場所	〒 Tel メールアドレス		
志望専攻名	志望する専攻に○印をつけて下さい。		
		薬学専攻(博士課程)	
		創薬科学専攻(博士後期課程)	
志望分野名	第1志望	第2志望	第3志望
	事前相談実施月日		

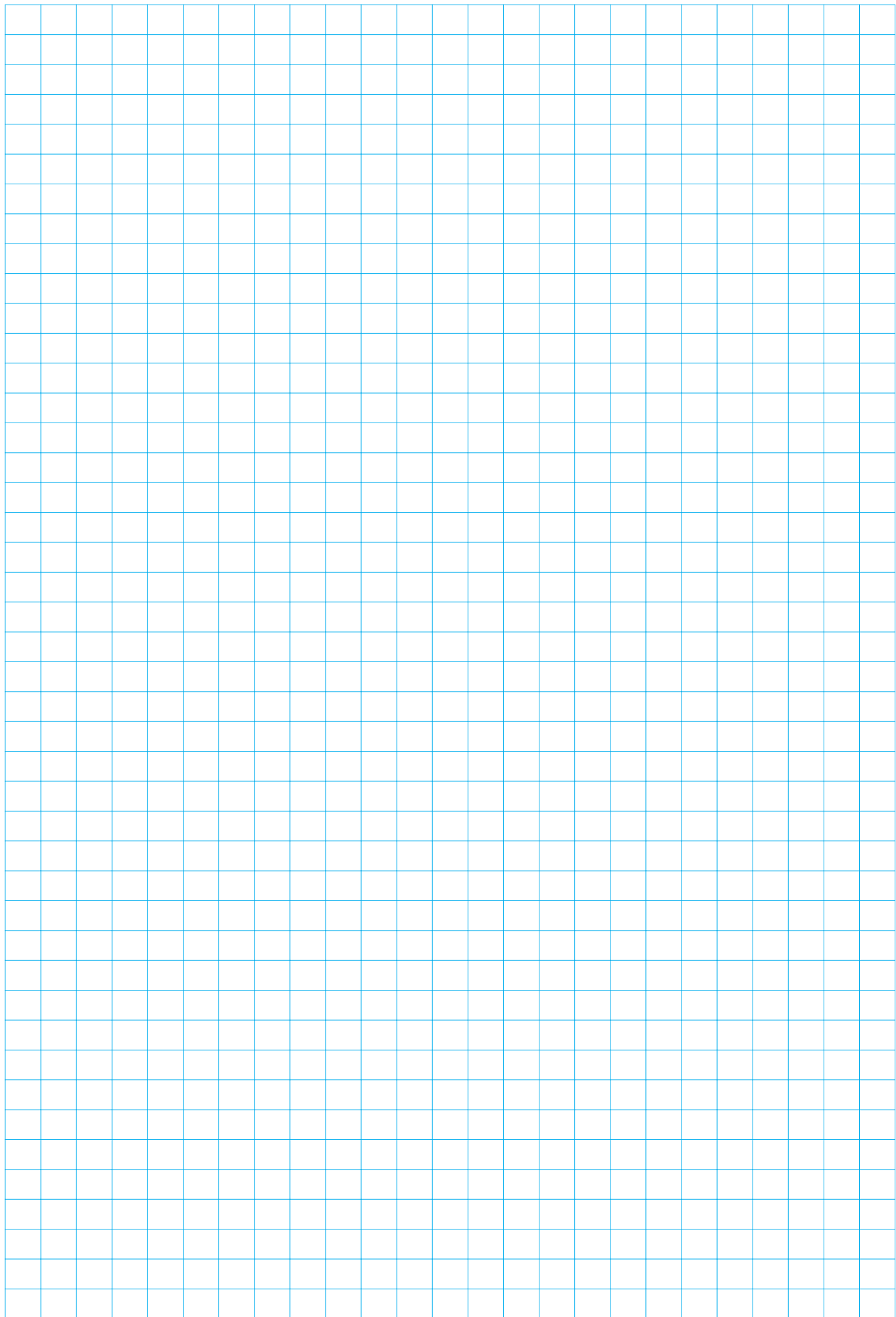
〔記入上の注意〕

- ※欄は記入しないでください。
- 志望専攻名欄は必ず記入してください。
- 志望分野名欄には第3志望まで記入することができます。ただし、同一専攻内とします。第1志望分野については、事前相談実施月日を記入してください。
- 「受信場所」は、入学決定までの通信を受ける場所を記入し、変更した場合は速やかに届け出てください。
- 入学願書提出後の志望分野名等の変更は認めません。
- 裏面の履歴書は、できるだけ詳細に記入してください。
- 記入にあたっては、ペン又はボールペンを用い、本人が鮮明に楷書で記入してください。

# 履 歴 書

学 歴	年 月	事 項
高等学校卒業から記入してください。なお、大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入してください。  (注) 外国人留学生は、小学校入学から記入してください。	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
資 格	年 月	
	年 月	
	年 月	
賞 罰	年 月	
	年 月	





# 研究業績調書 (博士・博士後期)

(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

いずれかを○で囲んでください。

受験番号	※	氏名			
学術論文，研究発表・報告，特許等の名称			発行又は発表の 年 月 日	発行所，発表雑誌等又は 発表学会等の名称	共同発表者等名

- (注) 1 年代順に記載してください。また，学術論文等は，別刷又は写を添付してください。  
2 共同発表者等名は，掲載順に全員記入してください。  
3 ※欄は，記入しないでください。



## 写 真 票

令和7年度 徳島大学大学院薬学研究科博士課程・博士後期課程  
(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

※受験番号		写 真
ふりがな 氏 名		
生年月日	昭和 平成 年 月 日生	1 半身脱帽正面向3か月以内に単身撮影したもの。 2 枠に合わせて写真をはってください。 (5 cm × 4 cm)
志望専攻名		専 攻

令和 年 月 撮影

## 受 験 票

令和7年度 徳島大学大学院薬学研究科博士課程・博士後期課程  
(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

※受験番号		1 ※欄以外は本人が楷書で鮮明に記入してください。 2 試験場には、定刻15分前までに入場してください。 3 試験中は、常にこの票を携行し、学力検査時は机上に置いてください。
ふりがな 氏 名		
生年月日	昭和 平成 年 月 日生	
志望専攻名	専 攻	

## 試験日程

年 月 日	時 間	試験科目等
【第1次】 令和6(2024)年7月13日(土)	9:00~10:00	英 語
【第2次】 令和6(2024)年11月9日(土)	10:30~	口 頭 試 問

## 検定料の払い込みについて

- 1 検定料を払い込む場合は、必ずこの払込用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口から払い込んでください。  
(ATMは、使用しないでください。)
- 2 検定料を払い込む際には、払込用紙のすべての志願者欄に氏名等を記入の上、切り取り線から払込用紙を切り取り、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口へ検定料に手数料を添えて提出してください。(払込用紙は3連式ですので、切り離さないでください。)
- 3 検定料を払い込んだ際には、日附印が押印された「検定料払込証明書(出願用)」を必ず受領してください。
- 4 「検定料払込証明書(出願用)」は、「検定料払込証明書」の指定の欄に貼付して願書に添付して提出してください。
- 5 この払込用紙の「振替払込請求書兼受領証」をもって国立大学法人徳島大学の領収証書に代えさせていただきますので、別に領収証書を送付することはありません。

切り取り線

### 払込取扱票

00	口座記号番号	千	百	万	千	百	十	円
016300	92535	3	0	0	0	0	0	0
加入者名	国立大学法人 徳島大学							
通信欄	令和7年度薬学研究科博士課程・博士後期課程(一般・社会人・外国人) 検定料							
志願者	おところ(郵便番号)							
おなまえ	様							
(電話番号)	日 附 印							

各欄の※印欄は、志願者において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)承認番号徳第4381号  
これより下部には何も記入しないでください。

### 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	千	百	万	千	百	十	円
016300	9	2	5	3	5	0	0
加入者名	国立大学法人 徳島大学						
金額	千	百	万	千	百	十	円
おなまえ	30000						
志願者	様						
料金	(消費税込み) 円						
備考	日 附 印						

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取らないで郵便局にお出しください。

### 検定料払込証明書(出願用)

口座記号番号	千	百	万	千	百	十	円
016300	9	2	5	3	5	0	0
加入者名	国立大学法人 徳島大学						
払込金額	千	百	万	千	百	十	円
志願者	30000						
住所氏名	※						
日 附 印							

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはつきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙  
5万円以上  
貼付  
印

この場所には、何も記載しないでください。

薬学研究科博士課程・博士後期課程  
入 学 出 願 用

受験番号 ※

(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)

いずれかを○で囲んでください。

## 検 定 料 払 込 証 明 書

「検定料払込証明書（出願用）」貼付場所

※欄は、記入しないでください。

受験 番号	※
----------	---

# 受験許可書

博士・博士後期（一般選抜）

氏名

昭和  
平成

年 月 日生

上記の者が、令和7年度徳島大学大学院薬学研究科（博士課程・博士後期課程）（一般選抜）の入学試験を受験することを許可します。

令和 年 月 日

徳島大学大学院薬学研究科長 殿

所在地

所属機関

所属長

印

※欄は、記入しないでください。

受験 番号	※
----------	---

# 受験許可書

博士・博士後期（社会人特別選抜）

氏名

昭和  
平成 年 月 日生

上記の者が、令和7年度徳島大学大学院薬学研究科（博士課程・博士後期課程）（社会人特別選抜）の入学試験を受験することを許可します。

なお、本人が貴大学大学院薬学研究科に入学した場合は、在職したまま研究し、在学することを認めます。

令和 年 月 日

徳島大学大学院薬学研究科長 殿

所在地

所属機関

所属長

印

※欄は、記入しないでください。

受験 番号	※
----------	---

令和 7 年 度  
徳島大学大学院薬学研究科 博士課程・博士後期課程  
(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)  
いずれかを○で囲んでください。

## 入学試験出願資格認定審査調書

ふりがな 氏 名			現 職		
			現住所	〒  Tel	
生年月日(年齢)	昭和 平成	年 月 日生( 歳)	メール アドレス		
学 歴	年 月	事 項			
<small>高等学校卒業から記入してください。なお、大学等での研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入してください。</small>  <small>(注) 外国人留学生は、小学校入学から記入してください。</small>	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
職 歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
資 格	年 月				
	年 月				
	年 月				
賞 罰	年 月				
	年 月				

※欄は、記入しないでください。

(裏面へつづく)



学会及び社会における活動等	
年 月 日	事 項

徳島大学大学院薬学研究科

# あ て 名 票

合格通知等を受け取る住所、氏名、郵便番号を3箇所記入すること。  
団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借りをしている者は、「〇〇様方」と詳しく記入すること。  
なお、出願後、又は合格発表後、住所変更した場合は、速やかに届け出ること。

合格通知等用→

住所

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

合格通知等用→  
（予備：上記と同じ  
あて名を記入すること）

住所

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

入学手続案内用→  
※必ず受け取ること  
ができる住所  
を記入すること

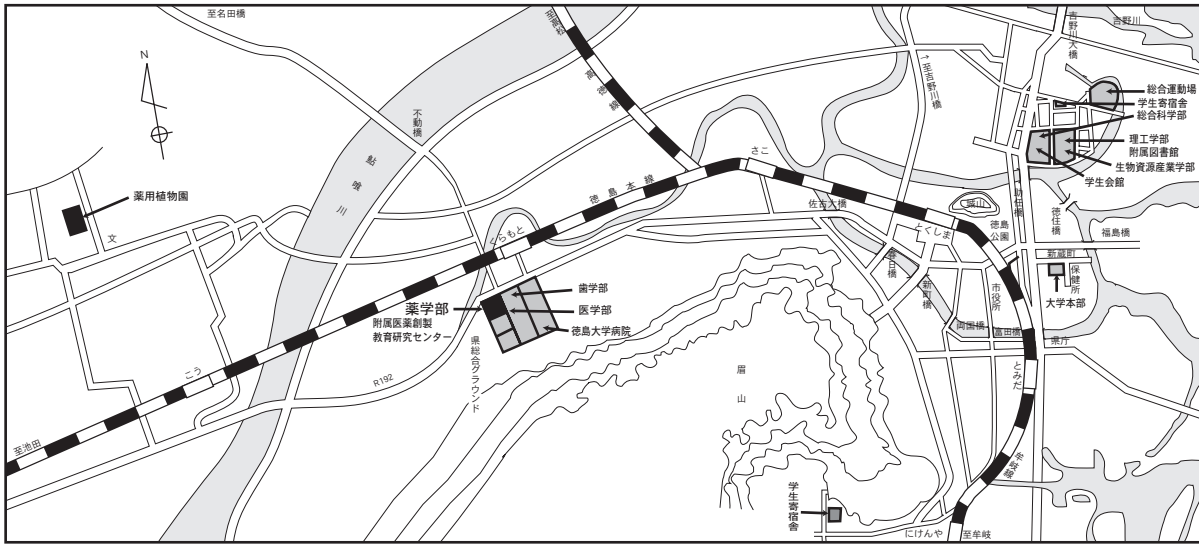
住所

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

# 徳島大学 薬学部位置図



## 所在地

薬学部 徳島市庄町1丁目78番地の1 電話(088)633-7247  
 附属医薬創製教育研究センター  
 薬用植物園 徳島市国府町日開字北536番地の3

## 交通アクセス

### ◎航空機

東京【羽田空港】 約1時間10分  
 福岡 約1時間30分  
 徳島阿波おどり空港

### ◎鉄道

岡山駅 瀬戸大橋経由約1時間 JR 高松駅 高徳線約1時間10分 JR 徳島駅

### ◎高速バス

京都・神戸・大阪 約1時間50分～約2時間50分 明石海峡大橋 淡路島  
 関西空港方面 徳島【JR徳島駅前】 高松・高知・松山  
 東京【品川】 (浜松町経由) 約8時間40分

### ◎フェリーポート

大阪駅 難波 電車約1時間 和歌山港 約2時間 徳島港 徳島市バス JR 徳島駅 約20分

### 交通アクセス

- 航空機
- 鉄道
- ~~~~ 船舶
- バス

徳島市営バス乗場案内 (JR徳島駅から試験場へ)

のりば	行先	備考
1	中央循環線(右回り) 上船喰	【県立中央病院・徳島大学病院前】 下車 徒歩 3分 又は「総合メディカルゾーン」 下車 徒歩 2分
	名東、地藏院、 天の原西(延命)	【医学部前】 下車 徒歩 2分

徳島駅から医学部まで・・・約4km

## キャンパスマップ

